

蔵出しお宝ニュース

— 第 24 号 —

三原市歴史民俗資料館では、所蔵資料の本格的な整理・展示のリニューアルに取り組んでいます。本紙では、資料館内で長らく眠っていた三原市ゆかりの貴重な資料の解説と行事の案内・紹介などを随時行って参ります。

夏休み子ども体験講座 無事終了

平成 25 年 7 月 31 日（水）13：30 から、資料館 1 階ロビーにて 1 回目の夏休み子ども体験講座「手染めの手ぬぐい作り」、8 月 7 日（水）13：30 から 2 回目体験講座の「七宝焼作り」を開催しました。染色の講師は当館学芸員の山崎が務めました。昨年同様に玉ねぎの皮を用いて、黄色に仕上がるようにしました。絞り柄にするため、思うところを輪ゴムで締めてもらいましたが、参加した子どもたちは集中した面持ちで取り組んでいました。玉ねぎの皮を煮出した鍋で 10 分くらい炊くと、生地が茶色になります。その生地を、ミョウバンを溶いたぬるま湯に通すとパツと爽やかな黄色に変わりました。子どもたちはきれいな出来栄えに手ぬぐいを持ってうれしそうに走り回っていました。



2 回目は脇まどか先生を講師にお招きし、七宝焼の壁掛けを作りました。七宝焼は金属工芸の一種で、完成すると大変美しい作品になります。まず銅版を磨き下準備をした後、好きな色の釉薬を乗せて電気炉に入れました。子どもたちはやっとして挟んだ細い釘で炉中の作品の仕上げをする作業に熱中していました。最後に作品を台紙に貼り、完成させました。

おかげさまで 2 回とも満員御礼で、大変うれしくいたしております。今後も折々の講座を計画して参りたいと思いますので、その折にはぜひ奮ってご参加ください。



(上) 夏休み子ども体験講座の様子

レトロな三原パンフレット 見つかる



(上) 三原市ゆかりの観光パンフレット

先日資料館整理中、昭和40年から60年頃にかけて製作されたと思われる三原市の観光パンフレットが数種類見つかりました。やっさ踊りや神明市、三原駅、映画館などが紹介されていますが、どの写真も現在とは様子が幾分異なり、まちの移り変わりを感じます。注目すべきは協賛店のロゴが大変なつかしいことです。現在も変わらず営業されているお店もあれば、残念ながら閉店してしまったお店もあり、屋号を見るとお店ごとの懐かしい思い出がよみがえってくるのではないのでしょうか。

電話番号も「62-0000」ではなく「2-0000」というように局番も1桁の時代です。

懐かしのパンフレットは資料館1階の蔵出しお宝ミニ展示コーナーでご披露したいと思いますので、ぜひご来館ください。

おき どころ しゅん じゅう
置 床 春 秋



掛物 頼 支峰 筆
富士山図

〔頼支峰は頼山陽の次男です。富士山は平成25(2013)年6月22日に世界文化遺産に登録されました。〕

花入 魚籠 花 季のもの

第2回 私たちのやっさ踊り展

会期：平成25年8月1日(木)～8月23日(金)

時間：午前10時～午後6時

ただし9日(金)～11日(日)は午後5時まで

会場：三原市民ギャラリー ギャラリー1

三原市城町一丁目2番1号

(ペアシティ三原西館2階)

入 場 無 料

問い合わせ：三原市経済部文化観光課

TEL0848-67-6014 FAX0848-64-4103

発行 平成25(2013)年 8月20日

〒723-0015 三原市円一町二丁目3番2号

三原市歴史民俗資料館

TEL 0848-62-5595

※本冊子に掲載の写真などは、許可なく転用なされないようお願い申し上げます。